



# 6月の園だより



社会福祉法人尚徳福祉会

末長こぐま保育園

2021.6

傘の出番が多くなる季節になりました。雨がふっているだけで憂鬱な気分になりがちですが、子どもが大きな傘を両手で持ちながらトコトコ歩いている姿やお気に入りの長靴を友だちと見せ合いっこしている姿、水たまりの中をソロソロ、ジャブジャブ歩く姿を目にするといつの間にか頬がゆるんでいます。

6月と言えば梅雨のイメージが強いですが、実は『食育月間』でもあります。農林水産省は、食育を集中的に行い推進を強化する月間を「食育月間」と呼び、実施期間を毎年6月と定めています。そもそもなぜこの時期なのかというと、食育の基本的理念を定めた「食育基本法」が2005年6月に制定されたからです。そこで今回は末長こぐま保育園の食育についてふれたいとおもいます。

まず、各クラスに目標がありますので一部を紹介します。0歳児：お腹がすき食事を楽しんで食べ心地よさを味わう。1歳児：様々な食べ物を見る、触る、噛んで味わう経験を通して自分から食べようとする。2歳児：様々な食品や料理を味わい、食材に関心をもつ。3歳児：食品の種類や働きに関心をもち、季節の変化や行事に気づく。4歳児：様々な食品や料理を味わうことで季節や食文化の違いに関心をもつ。5歳児：食品の簡単な働きを知り、自分から食べようとする。

どのクラスも食事を楽しむことが前提であり、年齢に応じて食具の使い方やマナーが加わります。幼児になると栽培物を通して成長の変化や自然の恵み、育てる楽しさや食べる楽しみ、調理してくれる人への感謝なども経験し感じてほしいと思っています。

今年の栽培物は3歳が枝豆・オクラ、4歳が小松菜・枝豆・さつま芋、5歳がトマト・なすを育てています。種まきから始めた小松菜が芽吹いたことに気付いて喜んだり、茄子の葉を虫メガネで観察したり、大きく育てる方法を自分たちで調べたり、飛んできたモンシロチョウが逃げないように少し離れたところから見ていたり、お当番の子が張り切って水をあげたり、小さい子が苗に興味を示したりしている姿が日々あります。

献立にも工夫があり、6月は歯と口の健康のためしらす干しやちりめんじゃこなどの小魚を取り入れています。世界の料理を子ども向けに食べやすくアレンジもしていてポーカピカタ（イタリア）、かぼちゃのリヨネーズ（フランス）、魚のタンドリー風焼き（インド）などができます。『今日の給食何だろうって』と思う楽しみがあるのは最高ですよ。



## 6月生まれのお友だち



## 今月の予定

- 2日（水）歯科検診
- 4日（金）園医健診2・3歳
- 11日（金）英語であそぼう
- 17日（木）避難訓練
- 24日（木）誕生会
- 25日（金）英語であそぼう
- 30日（水）水あそび開き

